

## ロスレス圧縮技術 MPEG-4 ALS を用いたコンサートホール演奏の ハイレゾライブ配信サービス商用化に向けた説明会について

エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社、株式会社エムアイセブンジャパン、株式会社エムティーアイ、株式会社エム・データ、株式会社ザ・シンフォニーホール、株式会社 JAPAN FM NETWORK、株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス、公益財団法人日本センチュリー交響楽団、一般社団法人著作権情報集中処理機構の参加企業 10 社（50 音順）、および OTTAVA 株式会社、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 音楽みらいプロジェクトの事務局 2 社（1 つは大学機関）で構成される「デジタルコンサートライブ事業化検討コンソーシアム[\*1]（以下 DCLC）」は、2017 年 7 月の設立以来、ハイレゾライブ配信サービス開始に向けて技術試験[\*2]、運用に向けた権利関連の課題検討などを行い、同年 9 月に大阪のザ・シンフォニーホール、同年 12 月に軽井沢の大賀ホールにおいて演奏されるコンサートの商用インターネット配信に関する評価・実証実験を行って参りました。

DCLC はこの度、これまでの実証実験の成果を踏まえ、5 月 16 日（水）15：00 より商業サービス化に向けた説明会ならびに試聴会（過去に配信実験した収録音源を予定）を開催いたします。

商用化に際してはクラシックコンサート情報誌「ぶらあぼ」を発行する株式会社東京 MDE と連携し、DCLC 加盟各社と連携しながらクラシックやダンス、演劇、伝統芸能などを対象とした読者向けおよびホール向けサービスの提供を予定しています。

本説明会にご興味のある法人・団体の方は是非ご参加下さい。（定員の関係で応募者多数の場合は説明会にご参加頂けない場合もございます。参加者には一週間までに参加証をお送りします）

---

\*1：デジタルコンサートライブ事業化検討コンソーシアム：「デジタルライブ市場」活性化に向けた様々な課題の検証と解決に向けた活動を行い、持続可能な音楽・伝統・文化芸術活動が行える環境の整備を目指して 2017 年 7 月 26 日設立。詳細は別紙、参考資料をご参照。

\*2：ハイレゾライブ配信サービス技術試験：西日本電信電話株式会社および東日本電信電話株式会社が提供する帯域確保型のデータ通信サービス「データコネクト」を使用した高音質音源データの送受信試験（レゾネット・エアフォルク社のオーディオソリューション機器 RSX-1010 を活用）、および日本電信電話株式会社が研究開発しているイマージョンテレプレゼンス技術「Kirari! ®」の技術要素の一つであるロスレス圧縮技術「MPEG-4 ALS」コーデックでのインターネット網を通じた送受信試験などを実施。これらにより、帯域確保型データ通信を活用する事でインターネットの通信帯域の混雑を避けて安定的に大容量のデジタルコンテンツデータを配信拠点まで伝送可能となり、その後ロスレス圧縮をリアルタイムで行うことでインターネット回線でも高音質なハイレゾライブ音源の聴取が可能となります。

※Kirari! ®は日本電信電話株式会社の登録商標です。

### 【本コンソーシアムに関するお問い合わせ・説明会詳細・参加お申込はこちら】

説明会日時：5 月 16 日（水）15：00～17：00

開催場所：株式会社エムアイセブンジャパン 5F 会議室（[要事前申込](#)）

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-22-21

説明会申込：<http://www.dclc.jp>

連絡先：デジタルコンサートライブ事業化検討コンソーシアム 運営事務局

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 研究員 岸浪（音楽みらいプロジェクト担当）

[sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp](mailto:sei.kishinami@kmd.keio.ac.jp)



申込はこちら

## 【参考資料】デジタルコンサートライブ事業化検討コンソーシアムについて

### ●コンソーシアムの設立日 2017年7月26日

座長 佐々木 隆一（一般社団法人著作権情報集中処理機構 理事長）

### ●参加企業（設立時点）

（参加企業：社名 50 音順）

- ・ エヌ・ティ・ティ・スマートコネクト株式会社：MPEG-4 ALS 等を用いた配信基盤技術（通信・サーバ）の提供
- ・ 株式会社エムアイセブンジャパン：基盤技術（収録・伝送）の提供
- ・ 株式会社エムティーアイ：配信サービスにかかわる情報提供
- ・ 株式会社エム・データ：メタデータ設計にかかわる情報提供
- ・ 株式会社ザ・シンフォニーホール：ホール会場（イベント興行）の提供
- ・ 株式会社 JAPAN FM NETWORK：ブロードキャスト放送にかかわる情報提供
- ・ 一般社団法人著作権情報集中処理機構：権利処理にかかわる情報提供
- ・ 公益財団法人日本センチュリー交響楽団：定期演奏会を通じた実証実験への協力参加
- ・ 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス：配信サービスにかかわる情報提供および、ホール会場（イベント興行）の提供

（特別協力）・ オーディオエンジニアリングアドヴァイザー 入交 英雄氏（株式会社 WOWOW 所属）

（事務局）・ OTTAVA 株式会社

- ・ 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 音楽みらいプロジェクト

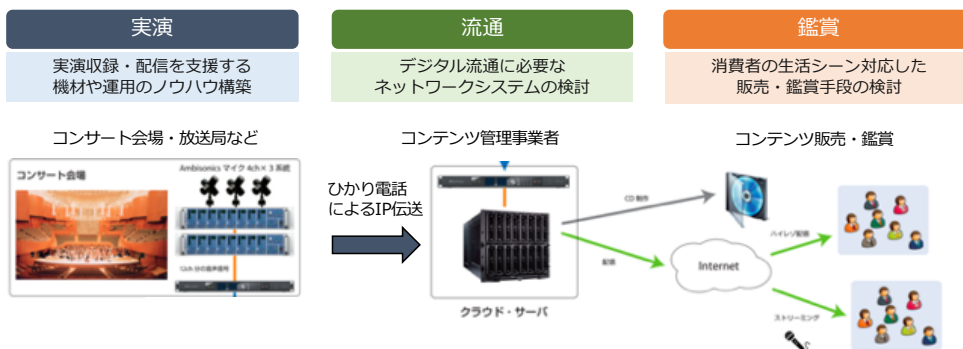
### ●活動概要

#### 「デジタルライブ市場」の活性化により、持続可能な音楽・伝統・文化芸術活動の基盤を構築する

実証実験を通じて音楽市場や技術環境の変化に対応した実演、流通、鑑賞のスタイルを検証し、ライブコンテンツのデジタル流通における課題の整理、解決と普及促進を目指した活動を行う。これにより、実演家やホール、関係事業者の新たな表現の場や手段を創出し、鑑賞を楽しみながら音楽・伝統・文化芸術の持続可能な活動を支援できる市場の構築を目指します。

#### 活動テーマ

実演、流通、鑑賞と権利処理に関連する関係者と実証実験を通じて課題や必要なタスクを洗い出し、その解決手段を検討すると共に、普及促進に向けたサービスや基盤の構築に向けて準備を進める。



#### 権利処理

流通促進に必要な各種権利の整理とブロックチェーンなどを活用した配分手段の検討  
様々なデジタル鑑賞スタイルに対応したメタデータ検討、活用